

# アクティブに活躍する 在学生をライブレポート!!

# Movements

## 本学の資格取得支援講座を活用し、佐治亜弥香さんが パワーポイント操作で日本代表、世界13位に!

パソコンの操作技術を競うMOS(マイクロソフト オフィス スペシャリスト)世界学生大会2012において、人間生活学科2年の佐治亜弥香さんが、全国のべ65,000人の参加の中から、日本代表の5人のうちの1人(パワーポイント部門)に選ばれ、世界大会に出場しました。7月末にラスベガスで行われた決勝戦でも健闘。見事、世界第13位に輝きました。帰国直後の佐治さんに喜びの声を聞きました。

### MOS世界学生大会への 参加のきっかけは何ですか?

大学内で開講された資格取得支援講座「MOS PowerPoint 2010」を受講したことがきっかけです。もともとパソコンは好きだったので、大学でレポートを書く機会も増えましたし、社会人になったときに役立つスキルを身につけておきたいなと思って。当初、世界大会への参加など思いもありませんでしたが、修了時に受けたテストの成績が良くて、エントリーしてみないかと



日本代表の5名(前列右が佐治さん)

見事、日本代表  
に選ばれました!

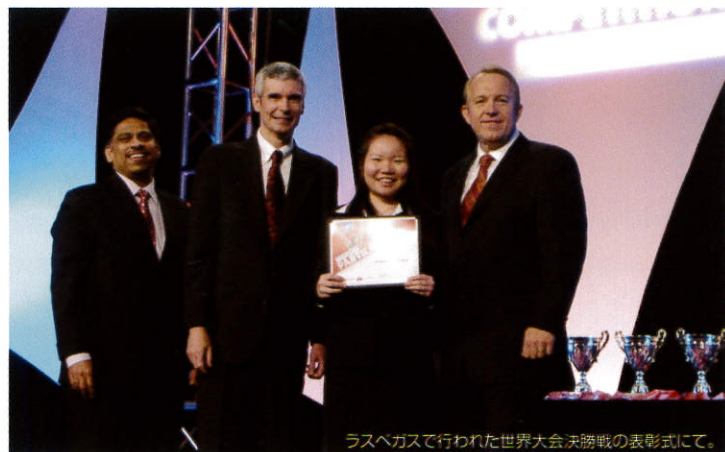
お声がけいただきました。試験と面接を経て日本代表に選ばれたときは、うれしくて信じられなかったです。

### 資格取得支援講座は どのような内容でしたか?

私が受講したのは春休みを利用しての2週間の集中講座。外部の講師の方に基礎から教えていただき、練習を積みました。分からないことは丁寧にサポートしてもらえましたし、何より大学内で開講される講座なので安心でしたね。まわりの学生の意識も高く、刺激になりました。

### ラスベガスの世界大会決勝戦について 教えてください。

世界36カ国の代表が集い、部門に分かれて技術を競いました。平等を保つため日本語での受験が可能でした。試験は50分が2回。



ラスベガスで行われた世界大会決勝戦の表彰式にて。

ひとつめは日本で受けた試験と同じで、画面に表示された指示の通り、的確に操作をこなしていくというもの。ふたつめは完成されたパワーポイントを渡され、いちからそっくりにつくり上げていくというもの。時間内にこなすには相当のスキルが必要で、こちらで少し手こずってしまいました。優勝をめざしてはいましたが、それでも世界13位という結果にはやり遂げたという達成感があります。

### 世界大会に参加して 得られたものは何ですか?

大会前後に催された歓迎レセプションやグラウンドキャニオンへのツアーにも参加し、世界各国の学生と仲良くなれたのが何よりの収穫です。実は私、海外に行くこと自体はじめてでした。MOS試験というひとつのきっかけから、色々な経験ができたことで、自分の世界が広がり自信にもつながりました。

### 今後の抱負を聞かせてください。

もっと将来に向けていろんな勉強をしたい、チャレンジしていきたいと思っています。私は衣食住や福祉に興味があり、将来は中学が高校の家庭科の教員になりたいと思っています。大学で身につけたスキルを生かし、パワーポイントを使って授業ができればおもしろいですね。



大会を通じて知り  
あった世界各国の  
学生とは今でも連  
絡をとっています。